

第5号様式（第20条関係）

令和4年 6月 1日

日野市住民主体活動型の介護予防・生活支援サービス事業補助金交付申請書

（あて先）日野市長

団体名 ちょこすけ隊
住 所 日野市〇〇市〇丁目〇番地
氏 名 〇〇〇〇 印
電 話 090-〇〇-〇〇

氏名の横に印鑑を押してください。電子申請の場合、押印は必要ありません。
※法人の場合は、電子申請できません。

日野市住民主体活動型の介護予防・生活支援サービス事業実施規定に基づき、日野市住民主体活動型の介護予防・生活支援サービス金を下記のとおり交付申請します。

記

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 事業実施日 | 令和4年6月1日～ 令和5年3月31日 |
| 2. 補助金交付申請額 | 540,000 円 |
| 3. 添付書類 | |
| (1) 事業計画書 | |
| (2) 収支予算書 | |
| (3) 活動ボランティア名簿 | |

事業計画書

令和 年 月 日作成

● 団体概要	団体名称 ちょこすけ隊
	活動拠点 ○○地区センター、○○公園
	団体概要 なにか地域の役に立ちたいと考えていた住民が集まり令和4年に団体を立ち上げた。今後は、地域住民の困りごと支援や介護予防のための体操教室を実施していく予定である。
● 活動内容	① 困りごと支援 ② 介護予防・フレイル予防活動 ③ 地域課題に関する取組み ④ チームオレンジ ⑤ 配食支援
● 事業予算額	600,000 円
● 補助対象額	540,000 円
● 事業目的(どのような地域課題に取り組むかに留意して記入。)	
	①○○地域は高齢化率が高く、スーパーや商店街が住宅地から離れているため、地域のボランティア団体を立ち上げ、困っている高齢者のお買い物支援や生活支援を行う。
	②高齢者が運動する場所や機会が少ない地域のため、定期的に運動できるような環境を整え、地域で交流する機会もつくる。
● 事業の効果	
	①買い物や生活での困りごとを日々抱えている高齢者を地域の中で助けることができ、地域交流の機会となる。また、助けるボランティア側も地域貢献という生きがいができる。
	②定期的に運動できる機会をつくることにより、地域高齢者の引きこもり防止や健康増進につながる。体操後の交流の場もフレイル予防や活動意欲増加になり得る。

各々の活動内容ごとに、目的や効果をご記入ください。

記入例

● 事業の内容(実施方法や活動頻度等、具体的に記入。)

①今年度の困りごと支援活動の上半期は、団体の周知やメンバー集めを行い、下半期は、ボランティアメンバー向けの研修を経て、本格的に活動を開始する。

〈スケジュール〉

6月～9月 団体を周知するためのチラシ作成・配布

10月 講師を呼んで、ボランティアメンバー向けの研修

11月～3月 困りごと支援活動開始(月曜日から金曜日に依頼を受け付ける)

②介護予防体操の活動周知を定期的に自治会の回覧等でおこないつつ、火曜日の10時から11時には、ビデオを見ながらひの健幸貯筋体操を行い、木曜日の10時から11時には、ラジオを流しながらラジオ体操を行う。

〈スケジュール〉

6月～ 介護予防体操の活動チラシ作成・配布、物品購入

7月～ 介護予防体操の活動開始

※月に1回はメンバー会議を行い、情報共有や活動内容の見直しを行う。

収支予算書

収入項目	収入明細	金額(円)
補助金	日野市住民主体活動型の介護予防・生活支援サービス事業補助金	540,000
利用料金	500円×10人×12ヶ月	60,000
	収入合計額	600,000

収支予算書

支出項目	支出明細 (単価×数量)	金額(円)
物品購入費	・コピー機 50,000円×1台 ・A4 コピー用紙 5円×5,000枚 ・事務用机 10,000円×2台	95,000
謝礼金等	・ボランティア活動費 300円×20人 ・研修講師への謝礼金 7,000円×2人	20,000
使用料	・会場使用料 1,500円×100日	150,000
交通費	・会議場所へのバス代(会場:百草センター) 250円×100日×5人	125,000
保険料	・ボランティア保険 5,000円×30人	150,000
通信費	・インターネット通信費 5,000円×12ヶ月	60,000
	支出合計額	600,000